



日本共産党市会議員

野口あけみ

活動だより

自宅 今津野田町

4-18

0798(34)7329

控室

0798(35)3368

2014.4 月

(No.103)

患者追い出し・「在宅」強制の法案 審議入り

消費税増税がスタートした4月1日。増税と社会保障切捨ての「一体改革」を具体化する医療・介護総合法案が、衆議院本会議で審議入りしました。同法案では、中長期にわたり、社会保障への国の支出を削減・抑制するため、医療・介護サービス利用を制限する方針が次々と打ち出されています。

患者追い出しをねらう

医療では、高齢化のピークとされる2025年には202万病床（入院ベッド）必要と厚労省はいながら、財政難を理由に、43万床を削減、159万床に抑え込む計画です。

都道府県に「地域医療ビジョン」を策定させ、医療機関と病床削減などを協議、合意に従わない場合はペナルティーを科して、強引に再編を進めようとしています。

厚労省はさらに、早く退院させて在宅復帰させないと病院収入が減る仕組みを導入して、早期退院（患者追い出し）を促します。

特別養護老人ホームが全く足りないなかで、その代替ともなっている療養病棟でも、病院に「在宅

復帰強化加算」を設けるなどして、患者追い出しを強めます。

今でも安心して入院しておれないのに、「行き場のない、『入院難民』『看取り難民』を増大させる」と、医療関係者は語っています。

「地域包括ケア」いうけれど

国は、病院から追い出され、施設にも入れない患者を在宅で生活させるために、市町村に「地域包括ケア」体制を作らせるとしています。

しかし、その柱となるはずの24時間対応の訪問介護・看護サービスは、「採算が合わない」と参入する事業者は、西宮では皆無、全国でもわずか。数年前から「地域包括ケア」が言われていますがすでに破たんしています。それでも強行を狙っているのです。

よかったね！

久寿川駅エレベーター 利用が始まっています

阪神久寿川駅にエレベーターが設置され、3月28日、利用が始まりました。

駅舎へのエレベーター設置は、国の指針が変わり（整備すべき駅舎：1日の乗降客数5千人以上→3千人以上へ）鉄道事業者が国・県・市の補助を受け、完成しました。市内の駅舎では、JR生瀬駅が現在工事中。



また、阪神甲子園駅は、西側は昨年10月に完成し、東側は2016年3月完成予定です。

これですべての駅舎にエレベーターが整備されることになります。

久寿川駅の改札口は地下1階です。地上から一旦地下の改札の外側に出て改札を済ませた後、改札内から再度エレベーターに乗り2階ホームへ。複雑な構造です。あわせて下りホームに多機能トイレも整備されました。

要支援の サービス外し

現在は介護保険の給付対象になっている「要支援」認定者のサービスのうち、訪問介護（ホームヘルプ）と通所介護（デイサービス）を保険給付から外し、市町村の「地域支援事業」に移すことで、給付を減らそう

としています。（原則2015年4月実施）
「地域支援事業」は国の一定の方針のもと、市町村がその内容を決めることとなります。サービス水準を低下させない取り組みが必要です。

介護保険改悪もズラリ



特養入所 要介護3以上に

特別養護老人ホームへの入所対象は現在、要介護1～5ですが、それを原則として要介護3以上に狭めます。

特養ホームの待機者は全国で52万人を超えており、西宮でも2000人以上。うち、3人に1人は要支援1、2の方です。必要があつて入所を待っている高齢者の、3人に1人が「待機者」にすらなれない、ひどい話です。

利用料が 2割負担に

さらに介護保険制度が始まって以来初めて、利用料を現在の1割から2割に増やします。（15年8月実施）
対象は「65歳以上で一定所得以上」。厚労省の想定は、年金収入280万円以上で、これは65歳以上の人の2割を占めます。今後、政府の一存で、さらに対象を広げることにも。